

機関投資家、アナリスト向け説明会

アプリックス I Pホールディングス株式会社

平成29年 3月 1日



経営体制変更及び今後の事業戦略に関する説明

代表取締役 長橋 賢吾

1. 選択と集中：

- ・今後、更なる収益拡大が見込まれるIoT事業にリソースをシフト
- ・非中核事業の出版事業では、一部子会社の株式譲渡契約締結

2. 経営体制の変更：

- ・過去において行っていたエンターテインメント事業の整理の見通しが立ち、また現在当社が取り組んでいるIoT事業の今後の黒字化の見通しが付いたことで、現役員体制へ経営の執行が移管

3. 利益が出せる収益構造へのシフト：

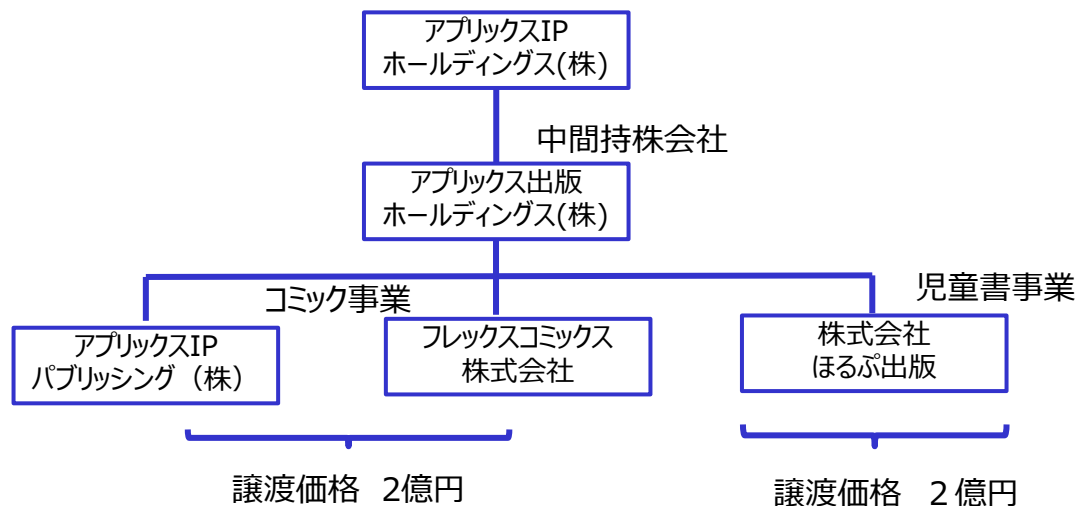
- ・ハードウェア、アプリケーション、クラウド単独でも利益が取れる体制へ

1. 選択と集中



選択と集中：出版事業の整理

- ・今後、更なる収益拡大が見込まれるIoT事業にリソースをシフト
- ・非中核事業の出版事業は一部子会社の株式譲渡を決定。
現在平成29年3月31日の株式譲渡日に向けて移管中
- ・平成29年12月期第1四半期にて関係会社株式売却損約3億円を連結で特別損失として計上見込み



1. 選択と集中

選択と集中：子会社の吸収合併並びに当社商号変更

- ・従来まで持株会社体制としてIoT事業を含む4つの事業を展開していたが、その内出版事業は一部子会社を株式譲渡、IP戦略部門、半導体開発部門は廃止
- ・IoT事業を展開する完全子会社と合併し、持株会社から事業会社へ移行
- ・4月より商号を「アプリックスIPホールディングス株式会社」から「株式会社アプリックス」に変更



1. 選択と集中

選択と集中：減資及び欠損填補

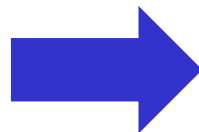
- ・資本金120億円及び資本準備金 6 億円を減少し、その他資本剰余金に振り替えた上で、繰越利益剰余金の欠損補填に充当
- ・第32回定時株主総会で決議後、平成29年4月1日から効力発生予定
- ・法人事業税など資本金に応じた課税負担が減少見込み

【個別貸借対照表】

減資前

資産	負債
	純資産
	資本金 138億円 資本準備金 6億円 利益剰余金 ▲127億円

資本金120億円及び
資本準備金 6 億円を
繰越利益剰余金の
欠損補填に充当



【個別貸借対照表】

減資後(4/1~予定)

資産	負債
	純資産
	資本金 18億円 資本準備金 0 利益剰余金 0

2. 経営体制の変更



平成29年2月23日開催の当社取締役会にて、当社創業者であり代表取締役 兼 取締役社長であった郡山龍の代表取締役辞任、及び取締役長橋賢吾の代表取締役就任について決議。

なお郡山龍は、第32回定時株主総会において取締役任期満了となり、以後は無報酬の社外の立場で必要に応じて当社事業を支援。

現状の役員体制

代表取締役	長橋	賢吾
取締役会長	郡山	龍
取締役	石黒	邦宏
社外取締役	平松	庚三
常勤監査役	根本	忍
社外監査役	新田	喜男
社外監査役	山田	奨

3. 利益の出せる会社へのシフト



利益の出せる会社へのシフト = 当たり前前のことを当たり前前。

2つの当たり前：

1. お客様のニーズを適切に汲み取り
2. 適正価格でハードウェア、アプリケーション、クラウドを販売

IoTソリューション事業で利益の出せる会社に

3. 利益の出せる会社へのシフト



IoTソリューション事業

$$\text{売上} = \text{地域} \times \text{カテゴリ}$$

[日本	[ビーコン
	米国		サービス
			レベニューシェア



ビーコン

ロケーションビーコンはMyBeacon®として国内ネット販売
16年12月に価格改定(1個あたり1200円→2500円)
ビーコン販売でも利益を出せる体制に
お知らせビーコンは、家電機器への組み込み中心

サービス

国内メーカー等とのタイアップでアプリ・クラウドを提供

食品系: ユーザの嗜好把握のため今後コーヒーメーカー等
機器とスマホとの連携が拡大の見込。

ビーコン+サービスでスマホ連携の需要を取り込む

テレマティクス: 自動車保険におけるユーザの乗車履歴等を
スマホアプリを通じて把握する需要が拡大、
これまでの実績をもとに保険会社とのタイアップを目指す

海外子会社Aplix Corporation of America（米国カリフォルニア州）が中心となり
米国・欧州向けにIoTソリューションを提供

ビーコン



お知らせビーコンが主流で、アプリ・クラウドとセット
日本にくらべて、製品導入までの意思決定スピードが速い
すでに商用製品も出荷しており、顧客数を拡大

サービス

浄水器: Aquasanaなど採用実績があり、既存顧客からのリピートオーダーに加えて、新規顧客へのソリューション展開
ECサイトでフィルターを購入するたびに、当社に収益分配するレベニューシェアの売上拡大も見込む

ペット・空気清浄機:

Our Pet's, Guardian 社など既存顧客からの
リピートオーダーにくわえて、新規顧客展開を実施
米国Amazon.comのAlexa Skill対応も実施

会計監査人の異動

- 平成29年3月28日開催の第32回定時株主総会での決議を前提に
会計監査人異動予定
(有限責任監査法人トーマツ → 監査法人ハイビスカス)

①名称	監査法人ハイビスカス
②所在地	主たる事務所 北海道札幌市中央区南1条西9丁目1番地15 従たる事務所 東京都渋谷区東2丁目23番3号
③業務執行社員の氏名	阿部海輔、高橋克幸
④日本公認会計士協会の上場会社監査事務所登録制度における登録状況	上場会社監査事務所名簿に登録されております。

17年12月期通期業績予想



(単位:百万円)	売上高	営業利益
2016年12月期(A)	1,526	▲929
2017年12月期 業績予想(B)	1,054	12
増減額(B-A)	▲472	+941
増減率(%)	▲30.9%	—

- ・出版事業における連結子会社3社の株式譲渡のため、全体の売上高は前年度より減少
- ・ただしIoT事業については、当社IoTモジュールを搭載した浄水器、空気清浄機等のIoT製品の販売が開始し、またアプリケーション及びクラウドシステムの開発等のソリューション売上が増加している等、その成果が具体化していることから、今後の事業の収益性の拡大に向けて更なる取り組みを進めることで、前年度のIoT事業の売上高より60%増加となる見込み

Aplix



アプリックスIPホールディングス株式会社

<http://www.aplix-ip.com/>

株式会社アプリックス

<http://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。